

高須…私が入社した当時は、工場営業部、購買部と組織が分かれています。それが、それぞれがうまく機能していませんでした。そこで私の発案で、購買、生産計画、海外製造拠点の支援などを担当する部門を作ったのです。この部門を中心に置いて、会社の組織を立て直しました。その

具体的には、どのようなことを実行したのでしょうか。  
高須…私が入社した当時は、工場営業部、購買部と組織が分かれています。それが、それぞれがうまく機能していませんでした。そこで私の発案で、購買、生産計画、海外製造拠点の支援などを担当する部門を作ったのです。この部門を中心に置いて、会社の組織を立て直しました。その

富士セイラに入社して、どのような仕事をされたのですか。  
高須…一言で言いますと、製造業への復帰を進めました。ねじ屋には製造系と商社系の2種類があるので、私が入社した頃、当社は製造と商社を半々ぐらいやっていた中途半端な状況でした。ですから、工場を強化するために、「そこから購入するのを減らして、自分たちで作ろう」とモノづくりの原点に戻ることになったのです。

モノづくりの原点に戻る  
高須…大手電機メーカーで順調に勤めたこともあり、あまり考えたことはありませんでした。しかし6年間赴任した中国から帰国したときに、小さい頃から親しくしていた古株の従業員から「富士セイラに来てくれないと困る」と言われ、会社を継ぐ決意をしたのです。

2番目は嫌だ。  
必ず精密ねじで  
世界トップになってみせる。



海外展開はどのように進めているのですか。  
高須…大手電機メーカーなどのお客さまが海外に進出し、それにもなつて海外展開を進めるケースが多いです。現地でも生産すればサービス価格、納期において良い条件を出せますからね。現在のところ、中国、タイ、フィリピンに現地法人があり、タイに2人、フィリピンに3人、日本から従業員が赴任しています。また他の国への進出も検討を進めています。

社長として実現したいことは何ですか。  
高須…私は、とにかく2番目が嫌いです。富士セイラはまだまだ小さな企業ですが、仕事のやり方によっては世界一になれるはずなんです。既に品質的には世界トップレベルにありまますので、ぜひ世界一を実現したいと考えています。まずは、社員全員が「我が社は世界一」という気概を持つことが大事だと思います。

社長として実現したいことは何ですか。  
高須…私は、とにかく2番目が嫌いです。富士セイラはまだまだ小さな企業ですが、仕事のやり方によっては世界一になれるはずなんです。既に品質的には世界トップレベルにありまますので、ぜひ世界一を実現したいと考えています。まずは、社員全員が「我が社は世界一」という気概を持つことが大事だと思います。

創意工夫を凝らして、前向きにチャレンジする  
高須…新しいことに対して自ら創意工夫を凝らして、前向きにチャレンジする人たちが一緒に働きたいと思っています。当社は冷間圧造を始めていて、さまざまな技術をミックスして用いているため、挑戦する気持ちがあれば幅広い技術を習得できます。お客さまからの要求は多様なので、それに対応することにより、他社では得られない技術力が身につくはずなんです。

The Management Data File  
経営者データファイル  
お名前……………高須 俊行  
生年月日……………1967年6月8日  
出身……………東京都  
身長……………170cm  
体重……………69kg  
平均睡眠時間……………4時間  
平均起床時間……………午前5時  
趣味……………旅行

乗っている車……………ロードスター  
オススメ本……………[MADE IN Japan]  
家族……………妻・娘  
今までに訪れた国……………20カ国  
座右の銘……………最後の最後まであきらめない  
読書雑誌……………日経ビジネス  
尊敬する人……………盛田 昭夫(ソニー創業者)  
今日の財布の中身……………30,000円  
好きな食べ物……………肉類  
嫌いな食べ物……………香菜

会社概要 富士セイラ 株式会社  
本社所在地 ● 東京都品川区東大井1-3-25  
設立 ● 1927年(昭和2年)3月 資本金 ● 3,000万円  
事業内容 ● 一般ねじ部品、特殊ねじ部品、特殊冷間圧造部品などの製造  
従業員数 ● 114名 事業所 ● 東京都(品川区・大田区)、栃木県、山形県、岩手県、新潟県、長野県、兵庫県、島根県  
海外拠点 ● Kunshan Sanki M&E Industrial (中国)、FATEC(フィリピン)、Fuji Shinsei(タイ)、FUJI INTERNATIONAL TRADING(中国)  
URL ● http://www.fujiseira.co.jp/  
就職情報はコチラ

※ISO14001: ISO(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステムに関する国際規格。企業や自治体などが行う事業活動が環境に与える影響を、組織的かつ継続的に削減するための管理システムを定めている。  
※Just In Time: 生産工程において、「必要なときに必要なものを必要なだけ必要な場所に届ける」生産方式・在庫管理方式のこと。在庫をあまり持たずに市場(顧客)の多品種・少量・短納期などの要望に対応できる。



若手社員が活躍する城南島事業所(東京都大田区)

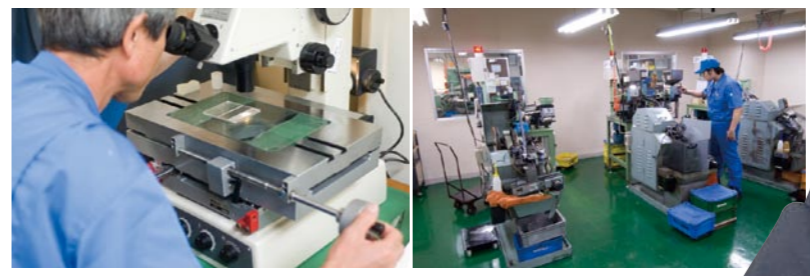
# 世界レベルの精密ねじをベースにオンリーワンを目指す

IT化とグローバル化で“未来の製造業の形”を実現したい

精密ねじの製造において世界レベルにある富士セイラ。ハードディスクに用いられる精密ねじをクリーンルームでパッケージするなど、最先端製品に部品を提供している。社長である高須俊行に、富士セイラの強さ、今後のビジョンについて聞いた。

経営者インタビュー INTERVIEW  
● 富士セイラ 代表取締役  
**高須 俊行**  
たかす としゆき

Profile  
1967年、東京都生まれ。早稲田大学を卒業後、大手電機メーカーに入社して営業を担当する。97年に中国の合弁会社に駐在し、中国でのビジネス、及び企業経営に関する経験を積む。2003年、東京本社営業に帰任。2004年、富士セイラに入社し、製造業への復帰や海外展開を進める。2007年に代表取締役に就任。



左:精密ねじには厳しい品質検査が行われる 右:切りくずの出ない冷間圧造技術

クリーンルームで作る世界レベルの精密ねじ  
まず御社の事業内容をお聞かせください。  
高須…家電、コンピュータ機器、通信機器、ATMなど幅広い分野に精密ねじなどの金属部品を提供しています。ねじは売上全体の60%ほどで、その他は精密機械加工部品、ダイキャスト部品やその金型などです。  
どのような製品に使用される部品を作っているのですか。  
高須…最近では、薄型テレビ向けねじの需要が拡大しています。また、

最後に、今後のビジョンをお聞かせください。  
高須…第一に精密ねじ製造でナンバーワンを目指します。それから、自動車やロボットなどへも分野を広げ、オリジナリティのある製品を作っていきたい、と考えています。現在、大きなテーマとしてはIT化とグローバル化があります。会社全体のIT化を進めており、生産システム全体を組み直しながら、物流の仕組みを改善して、短納期で少量多品種を提供できる体制を構築しています。  
つまり精密ねじに関する世界レベルの技術をベースに、精密部品のサプライヤーとして「Just In Time」の体制を全拠点で整えているのです。このように体制を整えることにより、未来の製造業の形を実現したいと思っています。

技術面ではいかがですか。  
高須…当社では冷間圧造という材料を叩いて加工する技術を用いて、ねじを製造しています。冷間圧造では削る工程がありませんから、切りくずが出ません。いわば粘土を形成するような感じで作っており、叩く回数によってさまざまな形状にできます。削るよりも早く加工できますし、無駄がない、というメリットもあります。ですから、環境に優しい作り方という点でもできるでしょう。昨年度にISO14001を全社で取得しましたが、製造工程そのものが省

環境にも優しい冷間圧造技術  
なるほど。他にも御社の特徴を教えてください。  
高須…大手電機メーカーと直接取引していることが特徴です。実はねじの製造メーカーで直納している会社は少ないのです。売上の半分以上は大手電機メーカーで、その他の取引会社の数は千社を超えます。また、私たちは直販を主体としています。私たちが比較的価格で製品を提供できる点や、品揃えが良い点も特徴です。特にねじに関しては、これまでの多様な販売実績がありますから、お客さまのさまざまな要求に応えられます。

コンピューターのハードディスクに使われる精密ねじでは、高い評価を受けています。最終工程ではクリーンルームを使ってパッケージングしており、ホコリの無い清潔な精密ねじを納品しています。これは日本でも数社ぐらいしか製造できない精密ねじで、技術的には世界レベルにあるでしょう。